

Company introduction 筑後エリア

株式会社 アグリス【農業・医薬・医療】

●本社 八女市鶴池477-1
●東京支店 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル6F
●大阪営業所 大阪府中央区石町1-1-1 天満橋千代田ビル2号館4F

- 代表者 代表取締役社長 中村 裕之
- 設立 1990年9月
- 資本金 8,800万円
- 従業員 109名(臨時社員等を含める)
- 電話 本社：0943-30-1177
- FAX 本社：0943-30-1178
- e-mail Ryosuke-hara@aglis.co.jp
- HP-URL <http://www.aglis.co.jp>
- 連絡担当者 開発企画部
原 亮輔

医療と農業の 新しい価値を創造する

【事業概要】

当社は、『現場のニーズを聞きそれを商品化する』というコンセプトで開発を行っています。どんなに良い商品でも現場や使用する人にとって、より利便性やメリットがなければ市場には受け入れられません。『現場のニーズ』に耳を研ぎ澄まし、医療と農業の発展に貢献していきます。

【製品・サービス内容】

■『BuddyTape』はオンリーワン商品

『接木』とは、柑橘類やリンゴなど果物の品種更新を行う際、穂木である新品種を既存の台木に結合させる農業技術の一つです。この方法は古来より行われており、日本のみならず世界中で『接木』を行っております。

この『接木』の際、穂木と台木を活着させる為に使用する『Buddy Tape』は当社の商品として国内はもちろん、広く海外へ輸出しております。世界中探してもこのような接木テープはありませんので、まさにオンリーワン商品と言えるでしょう。

■人工透析のディスポキットのパイオニアとして25年

現場のニーズに絶えず耳を傾けて取り組んできた結果、トップシェアメーカーとして展開しております。現在国内人工透析患者は約32万人(平成25年末)と推計され、生活習慣病である糖尿病の増加に伴い人工透析患者も増加の一途を辿っています。その治療時には、患部の止血や消毒をする為に、ガーゼや綿棒など、衛生材料を大量に使用します。以前は各病院独自で衛生材料の準備・滅菌を行っていましたが、当社のキットはこの手間を滅菌済の1回使い切りのキットとする事で、病院での準備する労力を解消するだけでなく、感染症リスク軽減にも貢献しております。

■1つのキットで患部の処置が完了

当社で開発した『ESキットOne Pass』は、ガーゼや綿棒など衛生材料のキットに消毒液を取り付けることで、今までそれぞれ準備していた手間が解消され、1つのキットで患部の処置が完了し、医療現場の効率改善に貢献しております。

その他、手術用の新しい消毒処置用塗布スティック『セルスポX』を開発し、新しいジャンルでの商品開発を進めております。



BuddyTape
(国内、米国特許取得済)



ディスポ処置キット
『ESキットOne Pass』



消毒処置用塗布スティック『セルスポX』